

# 公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

## 2015年6月通常総会議事録

日 時：2015年6月23日（火） 11:00～17:00

場 所：東京都渋谷区 東京体育館 第一会議室

出席者：（1頁参照）

### 1. 開会のことば

司会の芦川理事より開会が宣言された。

### 2. 会長挨拶

内田会長から、日頃の連盟活動への協力に対し感謝の意を表明するとともに本総会議事進行協力をお願いした。

### 3. 感謝状贈呈

国体デモスポ行事を開催し、普及と振興に貢献をした長崎県ハング・パラグライディング連盟に感謝状が贈られた。

### 4. 本通常総会概要説明と正会員出欠確認

司会より理事及び監事、出席委員長の紹介と、本総会の出欠確認が行われた。

出席確認：

出席正会員40名、委任状4名、議決権行使3名

合計出席者47名。

総正会員の過半数の出席を得て、本総会は成立した。

議事録作成人の指名： 事務局長 桜井加代子

議事録署名人： 出席理事・監事

司会より、議事進行上の注意事項と、傍聴者の確認、会議運営の説明が行われた後、議長（内田会長）により議事進行に移った。

### 5. 総会の目的事項

#### 報告事項1 2014年度事業報告について

安田副会長から2014年度事業報告概要の説明を行った。

#### 報告事項2 2014年度決算報告・監査報告について

内田会長から2014年度決算報告を説明の後、市川監事から監査報告があり、質疑に入った。

石川県連盟：安全性委員会の安全セミナーが10カ所で開催されましたが、次年度は石川県でも開催して欲しいのです。どのような手続きが必要ですか。

議長（内田会長）：理事会としての限定事業でしたが、委員会から開催の趣旨を説明願います。

安全性委員（伊尾木）：昨年は10カ所で開催しました。今年度は3月に開催を予定しています。予算が取れないようでしたら明確には言えないのですが、参加者や県連からの補助をいただきながらの開催も考えています。

議長（内田会長）：補足ですが集中的に実施し、テキストも充実したものとなり、好評でした。JHFとして企画、派遣したほかにも2、3県連の費用で講師派遣、開催したところもあります。3月の委員会開催の前に希望があれば、テキストや教員検定員派遣はできますので、事務局にご相談ください。

神奈川県連盟：教員更新講習会ですが、開催場所で実技ができないケースは、講義だけでもよいのですか？

教員スクール事業委員（山谷）：カリキュラムはありますが、実技は義務ではなく、場所によって内容に違いがあります。開催内容については明日、委員会もありますし、皆さまのご意見を参考に考えていきます。

神奈川県連盟：実技はやらなければいけない規定だったと思います。

制度委員（小林）：悪天候でなければ実技をやってください、とお願いはしています。根本的には、教員のレベルを上げて維持しないとイケません。3年に1度開催で9年目になります。内容はその都度見直し、教員検定員を合格した方々に講師をお願いして全国開催していますが、実技をやらないう会場もありましたし、東京では場所がない等の事情もありました。

議長（内田会長）：検定員を減らすことについて説明をお願いします。

教員スクール事業委員（山谷）：27名検定員が決まりましたが、レベルが十分ではないのではないかという意見もあり、次の検定員検定会に向けてやり方を変える方向に話を進めます。

神奈川県連盟：講習会のレベルが低く、実技もやらないのであればもっと悪くなります。神奈川も会場がないので静岡を借りています。実技をやらない場所での受講を希望する人はいます。

議長（内田会長）：事業報告ですのでほかにご質問がなければ次に移ります。

## 決議事項1 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について

議長（内田会長）：報告事項2の中で、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにその附属明細書及び財産目録について承認をお願いします。

### 決議事項1について採決し

【賛成：46（賛成44、議決権行使2） 反対：0 棄権：1】  
で承認された。

## 報告事項3 2015年度事業計画について

安田副会長から2015年度事業計画について説明した。

## 報告事項4 2015年度収支予算について

内田会長から収支予算について説明した。

フライヤー会員の減少傾向は高齢化による自然減を補うだけの新規フライヤー加入がないため、若手フライヤーが飛び続けるような施策をとっていく等の方針を報告した後、質疑に入った。

神奈川県連盟：まだ知名度が低く、危険なスポーツと思われています。神奈川県連は20年近く体験会の活動をしているので、そういう活動に補助金をだして欲しいです。

議長（内田会長）：昨年は埼玉スカイスポーツフェスタに参加したほか、日本航空協会の航空スポーツ教室は県連に協力をお願いして参加しています。東京でも子供向けの体験会を予定しています。

神奈川県連盟：特定な地域ではなく、各地域の体験に補助を出す等を考えて欲しいです。

議長（内田会長）：総会後に理事会が新しくなりますので申し送ります。

大阪府連盟：昨年と違う計画を説明していただければと思います。教員スクール事業委員会のスクール支援のための事業企画について説明をお願いします。

教員スクール事業委員（山谷）：のぼりとかパンフレットは企画がありますが、ご意見があれば話し合っ準備していきたいと思います。

議長（内田会長）：制度委員会からスクール、エリアの規程改訂がありました。ウェブの大改造もあるので着手できていませんが、委員会からの提案は登録があれば吹流しを差し上げる方向で決まっています。これはまだ検討事項です。

大阪府連盟：パラグライダーはシングルサーフェースの機体でプロのイントラでなくても体験教習できたりしますので、そのための経費を予算に入れることも考えられます。学生については飛び続けられる環境作りとありますが、具体的に補助か何かあるのですか。

ハングパラ振興委員（井上）：そこに行けば飛べるような環境ということで、飛び続けるための就職セミナーの検討、そのた具体的には手探りの状態ですので、各スクールから情報があればご協力をお願いします。

大阪府連盟：教員スクール事業、振興委員会の両者から意見を聞きたいと言われています。JHF総会への上程は2県連からでないといけないというルールがありますが、もう少し現場の意見が手軽に反映されるシステム、雰囲気を作り、活発な議論ができる場にした方がよいと思います。

議長（内田会長）：以前メーリングリストがありました、なかなか意見交換が進まなかったこともあります。こういうやり方がよいとご提案いただけたらお願いします。

東京都連盟：正会員のMLは現状どうなっていますか？活用されていますか？

議長（内田会長）：封鎖され活用していません。

東京都連盟：メールでいいかは分かりませんが、いつでも正会員からの声が届くシステムがあってもよいと思います。

議長（内田会長）：次の理事会で具体的に決めてもらうように申し送り事項にします。

神奈川県連盟：複数県でないと上程できないのは来年からやめて欲しいです。

議長（内田会長）：定款の上位法律に縛られています。法律が変われば新しい定款案を作り、総会に諮って定款変更になりますので、2年はかかります。

大阪府連盟：正会員だけではなくエリア管理者からも意見を吸い上げられるようなシステムがあればフライヤーの声もでやすいので、そういうシステムを作ってください。

殿塚理事：理事として活動していく中で、定款やルールが細かく厳しく決まっており、自分の思うようにはできなかったというのが正直な話です。総会は議論というより正会員が集まって議決をしていただく場ととらえています。スクールや事業管理者がもっと交流をするべきという話は、理事会、委員会でもどう照らし合わせていくかが課題になると思います。次の理事会に申し送りしたいと思います。

安田副会長：総会としての決議事項、報告事項は法律で決まっています。1年に1回の場合ですが、それ以外にも議案提出でなく、皆さんが集まって意見や議論を交わすことはできます。総会は時間が限られていますので決議、報告を素早く終わらせることで、この機会を利用しての議論も可能です。

制度委員（小林）：正会員の30分の1が賛成して議案を提出することは法律で決まっていますので仕方がないのですが、理事会に提出することはできます。単独でも出して理事会が審議、議案と

するかは理事会に任せますが、それは可能です。

沖縄県連盟：補助動力副読本はいつできますか？技能証規程の改訂はどのような改訂ですか？

補助動力委員（須藤）：もう完成しましたので案内が事務局からいきます。

制度委員（小林）：現在、教本を作成しておりますので、それに沿った技能証になっていきます。

JHFでは、補助動力は高度を上げてエンジンを切ってフライトすることなので、それに合わせていきます。

京都府連盟：ハングスクールは相変わらず施設賠償に入れません。これについてJHFではどのような行動をしていただけるのでしょうか。

議長（内田会長）：東京海上と毎年2回面談をしていますが、よい返事がもらえていない状況です。他の保険会社へも調査、打診はしました。

京都府連盟：事業方針で新しいフライヤーを増やすということですが、まずスクールが施設賠償に守られた形で稼働しないとイケません。後継者問題もあり、新しい教員の育成も必要です。ハングライダーのC級がNPになるので保険も受け入れやすくなると思います。次の理事会にお願いします。

大阪府連盟：次の保険会社との面談の時に坂本さん（京都府連）にも出してもらおうとよいと思います。

東京都連盟：誰がみても安全という練習方法は、保険の適用にするという交渉のバリエーションもあると思います。

議長（内田会長）：その練習はハングライダーではないという場合、交渉扱いになります。

神奈川県連盟：技能証発行件数でハングが増えたのは、どういう理由でしょうか。

議長（内田会長）：分析で明確な理由は見えず、母数が少ないので少しの差が表面化しているものです。

宮崎県連盟：賛助会員のメリットを教えてください。

議長（内田会長）：賛助会員になってもらえるとJHFウェブサイトにはバナーを入れられます。また、JHFレポートに広告物を同封することができます。

PG競技委員（岡）：事業計画の中でクロカン日本選手権が未定のままですが、茨城・足尾で10月9日～12日に開催することが決定しています。

… 休憩 …

## 決議事項2 JHF 役員を選任

役員選任実行委員長（荒井）から、役員選任の前に役員宣誓書についての説明があり、質疑に入った。

東京都連盟：このような宣誓書を出したきっかけは何かあるのですか？

議長（内田会長）：現理事会ではちゃんとしています。答えは監事からお願いします。

市川監事：理事会運営は適切にしていると思います。

立候補者挨拶

芦川：第二期目で立候補させていただきました。総会でも理事会と正会員が離れているという意見もありました。各正会員の方と連絡を取れるような体制で、現場の声を拾っていきたく思います。

市川：監事を2期やりました。この団体が適正に運営されているかチェックでしたが、今回は理事として今以上に運営に協力していきたく思っています。行政との交渉や広報等に手を入れたいと思います。

池田：千葉県連から推薦を受けて立候補しました。会員を増やすには、今以上に体験会を行って、魅力があることを発信続けていけばいいと思っています。皆さんの意見を吸収、検討していこうと思います。

内田：覚悟をもって宣誓書を守り、監事に頼ることなく不正を防ぎ、きちんと理事会を運営、公正にやっつけようと思います。

大沢：10年ほぼ無欠で勤めてまいりました。微力ながらJHFをよくしていきたいと思っています。

鹿山：2期目で立候補しました。教育関係に所属していますので、宣伝もしていきたいと思っています。

塩坂：2期目に立候補しました。私は前向きなことを言うので慎重派には難しいかも知れません。教育者を増やすには年棒700万円は必要です。行政モデルを作りやろうと薦めています。今年度は神奈川・秦野で地域振興の核にハングとパラを入れたいと思います。

福永：パラグライダーを始めて20年、お返しをしようと香川県連の推薦を受けました。公益性を持った社団法人の立場等を考えた時、安全にできる環境を整えることに重点を置いて、スカイスポーツの発展を考えていきたいと思っています。

安田：3期やってきました。普及と安全が大事といいながらなかなか進みません。誤解されているのは、理事になると何でもできると思っている方もいますが、フライヤーの皆さまの会費をお預かりしているので、どう有効に使うかです。実際は委員会が活動をしてきています。エリア管理者、スクールからこういうことをJHFでやっていただければ、という意見もいただきたいと思っています。

日下：パラグライダーを始めて18年、エリア管理をして大変さを感じ県連理事にもなりました。宣伝をした後にそれを引き受けるエリア、スクールがないと人が増えません。エリアを大切に、メンバーを大事に、地元で根付いたエリアで航空スポーツを活性化したいと思っています。

岩村：公益認定を受けて2期目が過ぎたころですので、内閣府の立ち入り検査のタイミングに入ってきました。決算は今期も500万円弱の赤字です。JHFは10年でお金が尽きる計算になります。慎重に対応していきたいと思っています。

役員選任実行委員（荒井）より信任投票の説明があった。

東京都連盟：理事は9名までですから9個○を付けるのですか？最低数の6個付けなくても信任したいという方だけの投票で良いのですか？

役員選任実行委員（荒井）：はい。そうです。開票に立ち会いをいただける方はお願いします。

立ち会い：茨城県連、東京都連、神奈川県連

… 休憩 …

役員選任実行委員（荒井）より投票結果が発表された。

投票総数42票 棄権5票のため、22票をもって信任になります。

芦川31票、市川35票、池田20票、内田37票、大沢28票、鹿山18票

日下22票、塩坂25票、福永21票、安田29票、岩村41票

理事は、芦川雄一郎、市川孝、内田孝也、大沢豊、日下敏彦、塩坂邦雄、安田英二郎7名、監事は岩村浩秀1名が信任されました。

議長（内田会長）：では決議事項2として、役員を選任につきましては定款並びに役員選任規約に基づき、過半数以上の賛成があった方が役員となり、その条件により発表されました。本来、読み上げられた7人+1人の全員について議決が行われる必要がありますが、今の投票で全員の議決が行われたこととなります。ここで議決されたということになりました。ありがとうございました。

決議事項2について承認された。

## 報告事項5 日本体育協会加盟について

殿塚理事より日本体育協会加盟についての調査報告があり、質疑応答に入った。

神奈川県連盟：福島県連が加盟されていますがメリット、デメリットを教えてください。

福島県連盟：私たち県連では、県総会のパラ大会、ハング大会1回のみで15万円の補助金がです。今のところ土では+です。大会保険料も貰っていたのですが、現在は自腹で一人5000円ぐらいだしています。福島では傘下体協は4市町村だけなので、皆さんもやればできることではないかと思えます。

大沢理事：加入の事務手続きはどなたがやっているのですか？

福島県連盟：事務手続きは昔会長をやっていた方で、県職員の方がいたので綿密にやりました。

大分県連盟：県連単独で意思があるところは加入して得はあっても損はあまりない、という認識でよろしいでしょうか。私も行政出身ですが、事務負担はどのくらい出るのか、福島県連ではそれほど重い事務負担とは考えていないということですね。

福島県連盟：問題ないと思います。体協に入るといろいろなところに出てくださいというのが多々ありますが、会員も少ないのでだせませんと断っています。

長崎県連盟：県会費はどの位支払っているのでしょうか。

福島県連盟：7～8万円です。

山形県連盟：南陽市協議会では市体協に入っており、他団体への協力等がかなりあります。お金を貰えるから加盟というのはしんどくなります。安直に入ったり止めたりは困るとも言われました。

神奈川県連盟：費用をかなり支払うので、加入した所には5万円ぐらいを補助するとかいう予算はできないのですか？

香川県連盟：個人的な意見ですが、将来的には入った方がよいのではないかと考えています。ドローン規制の件もあり、社会的に認知されているかどうかとも重要になります。

殿塚理事：ここから先は、正会員の皆さまが各県で突き詰めていただき、10県入ればJHFでも加盟の流れになると思っています。ここで皆さまと情報交換ができて、各県で加盟するかどうかの検討が進むと思います。また来年の総会で意見交換ができて、加盟する県がでてたら他の県も加盟していくことになっていくと思っています。

議長（内田会長）：予算措置は困難だと思います。個人的な意見ですが、今すぐは無理でも継続して模索していく必要もあるのかなと思います。

## 6. 報告及び連絡事項

議長（内田会長）：次に国体資料について、和歌山県連盟さんお願いします。

和歌山県連盟：紀の川フライトパークで開催します。ハング、パラ両方70名。条件としては和歌山県在住、和歌山県連が認めたものです。昨日の時点で30名の申し込みがあります。大阪府連盟さんには、大阪フライヤーの方に補助金をだしてもらっています。7月30日が締め切りですので、よろしく願いいたします。

議長（内田会長）：学生連盟さん一言お願いします。

日本学生フライヤー連盟(工藤)：理事長の工藤です。2015年度計画を見ると学生に向けていろいろ試みていただけることが分かり、改めて重圧を感じています。毎年、補助金、イベントごとに県連さんにご協力をいただき感謝申し上げます。補助金は毎年、大会エントリー補助としてだしていたのですが、2014年度は大会が増えてパンクしてしまったので、2015年度は違った使い道を検討します。学生が卒業をしても続けられる環境ということでは、学連としても考えていて、去年は上原理事長がアンケートを行いました。大きなモチベーションとしては、エリアに行ったら仲間がいることで、就職で場所が変わると違うエリアになります。対策としていろいろなエリアで大会、イベントを行うことで大会を増やしました。去年はスカイ朝霧さんで合宿、今年は耳納で予定しています。皆さまから、うちのエリアに来てくださいと声を掛けていただけると嬉しいです。神奈川県連盟：体験会にも手伝いに来てくれました。学生さんをイベント等に引き込んでいけばよいと思います。

東京都連盟：年に1度学連体験会に協力して多摩川河川敷で開催しています。一部の学生サークルにしか届いていないかも知れませんが、もう少し広い視点で活動してもらえればと思います。

学生連盟：関東でも板敷と足尾が盛んで、埼玉大が独自のサークルをやっています。エリア間では、関東はバラバラ感が目立つのでいろいろな取り組みをしていけたらと考えています。

茨城県連盟：来月には板敷と足尾の交流戦も予定しています。明治大学の毎年グランボレでの安全セミナーにJHF補助で講師をやっています。学生間の交流もあり活気ある学生の現状があります。

京都府連盟：桜川でセミナーをやったのですが、足尾、板敷の学生がたくさん来てくれて、オールドパイロット、教員の方々も刺激を受けてパワーを感じさせてもらいました。鳥取砂丘の学生合宿も、除草作業は学生が140名お手伝いをしてくれ、県からも感謝されています。ハング新人戦を荒神山で開催し、関東からも大勢が来てくれて交流し、社会人に刺激を与えてくれています。安全セミナーも学生が参加してくれれば、オールドパイロットに刺激になるメリットがあるので、学生を大切にしましょう。

安全性委員（伊尾木）から、欧州へどのような事故が多いか、上達するためのポイント等の研究に行った報告が行われた。レポート等で会員の皆さまには報告します。

岡山県連盟：フライヤーを増やすことも重要ですが、怪我をして辞める人が多いので、事故を減らすことも考えないといけないと思います。商業エリアではなくプライベートエリア等で始めて、何本も飛んでいない人に最初から良いグライダーを買わせたりしています。JHFとしてその人に合わせて機体を買うように指導し、メーカーでも売る側としてその人に合わせた機体売って欲しいです。

教員スクール事業委員（山谷）：技量に合っていないグライダーに乗って怪我をして辞めていくことがあると思います。スクールは技術的なレベルを上げることもそうですが、売る側の責任でもあるので、メーカーが頼るのはその人が育ったスクールや知り合い、一番お客さんに近い教員の目が大切だと思います。日本は海外に比べて高性能のグライダーに乗っている人が多いと感じます。その意識付けもJHFや教員、それに関わる皆さまの仕事かとも思います。

安全性委員（伊尾木）：セミナーの資料で機材のクラス分けを書いている、注意しないとイケないのはBクラスのハイエンドです。フライヤーを増やそうとして事故が起きてしまえば、人が増えません。安全に飛んでいただくことを考えて、メーカーの人も考えて欲しいと思います。

岡山県連盟：入門したばかりで判断能力をもっていないのに、エントリー機体ではない物を買るところにはペナルティーを与えるべきだと思います。

議長（内田会長）：モーターパラグライダーでも対応するようにしていますので、JHFに告発してください。証拠と現実とどこの誰かが分かる形で連絡してもらえれば対処します。

安全性委員（伊尾木）：参考ですがドイツでは、今年からスクール生はAクラス以外使ってはイケないとなっています。

福島県連盟：高齢者という年齢はどれくらいを言いますか？

安全性委員（桂）：実年齢での線引きは難しいところです。どのように、そういう人達をセミナーに誘導していくか結論がでていません。高齢者という名称の定義ですがオールドパイロットという呼称が定着しています。言われる側の感情を考えるとよいネーミングがないか、皆さまからよい案があれば提案していただきたいと思います。

東京都連盟：ハングの教本ですが、何年もかかって改訂を計画しており、各委員会が協力しますとなっています。具体的な活動が始まっているようですので、ご報告お願いします。

教員スクール事業委員（山谷）：関係者が集まり会議をしました。メールを活発にして遅ればせながら進み始めています。今の段階でははっきり言えませんが、年内にはいつになるかの目処を立てられればと思っています。

議長（内田会長）：理事が7人になりますが、それぞれの理由があり役員選挙に立候補しなかった方、ご挨拶をお願いします。

工藤副会長：タンデムをして山沈をした反省の意味も込めて立候補しませんでした。ありがとうございます。

ございました。

殿塚理事：理事になったらJHFのことが分かるかと思って理事をやりました。迷いや手続きの不備もあり立候補しませんでした。理事会にでてお金の話や航空協会との繋がりなども分かりました。今後は委員会に関わって行きたいと思っています。よろしくお願いいたします。

司会より出席者に謝意が表明され、閉会が宣言された。

この議事録が事実と相違ないことを確認し、記名捺印する。

平成27年6月30日

議長・理事 内田孝也 印

理事 芦川雄一郎 印

理事 大沢 豊 印

理事 鹿山 登 印

理事 工藤修二 印

理事 塩坂邦雄 印

理事 殿塚裕紀 印

理事 福永信也 印

理事 安田英二郎 印

監事 市川 孝 印

監事 岩村浩秀 印

議事録作成人： 桜井 加代子